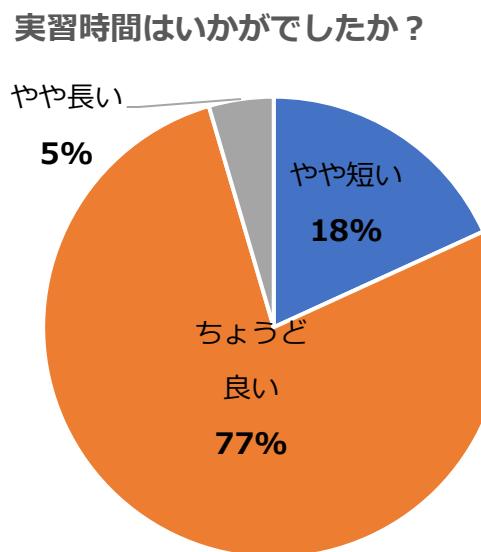
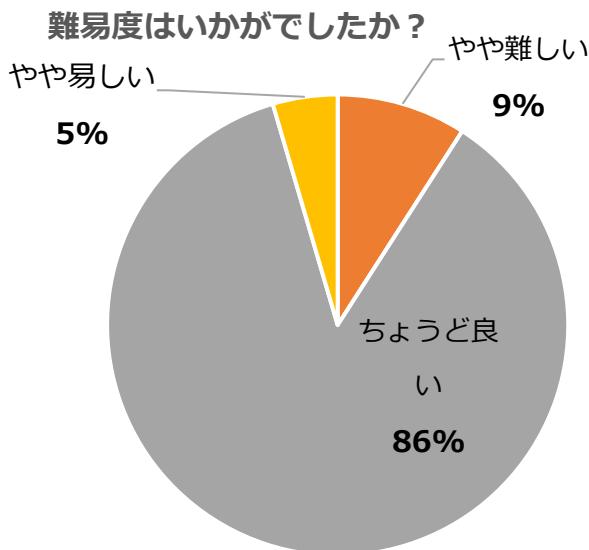


iCLiP2024 第 1 回 臨床研究ワークショップンケート

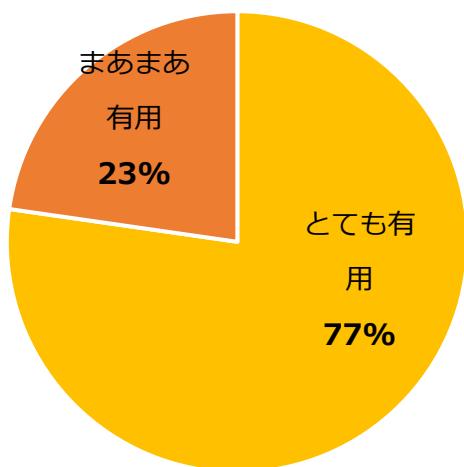
2024 年 7 月 20 日-21 日 日本橋ライフサイエンスビルハブ

2024年度 iCLiP 第1回臨床研究ワークショップ			
1日目 (7/20) (土)			
時刻	プログラム		時間 (分)
12:30 - 13:00	受付		30
13:00 - 13:10	開会の辞		10
セッション 1：疑問の構造化・先人に学ぶ 講師：京都大学医学部附属病院 特定講師 紙谷司			
13:10 - 13:20	ミニ講義		10
13:20 - 14:20	グループワーク 1		60
14:20 - 14:50	発表会 1		30
14:50 - 15:00	休憩		10
セッション 2：疑問をDAGでモデル化する 講師：京都大学医学研究科 特定講師 山崎大			
15:00 - 15:30	講義		30
15:30 - 16:30	グループワーク 2		60
16:30 - 17:15	発表会 2・まとめ		45
17:30 - 19:00	懇親会（会場内）		90
2日目 (7/21) (日)			
9:00 - 9:15	受付		15
セッション 3：測定をデザインする 講師：京都大学医学部附属病院 特定講師 佐々木彰			
9:15 - 9:35	ミニ講義		20
9:35 - 10:35	グループワーク 3		60
10:35 - 11:05	発表会 3		30
11:05 - 11:15	休憩		10
11:15 - 12:15	特別講演 PRO(QOL)の活用と最新の動向（仮） 講師：京都大学医学研究科 教授 山本洋介		60

■ 【セッション 1：疑問の構造化・先人に学ぶ】



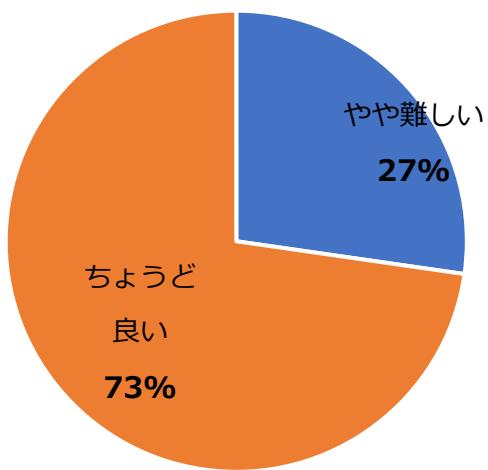
有用な内容でしたか？



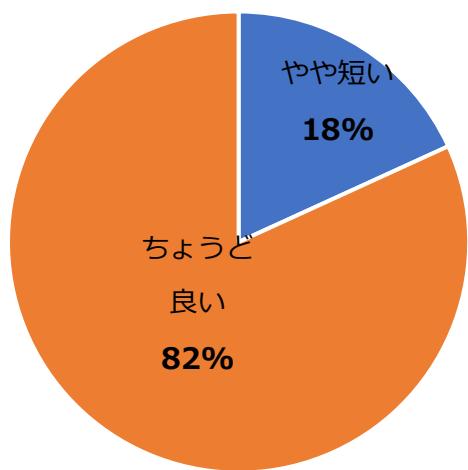
- 対面で他社からの受講者とコミュニケーションできたことは刺激になりました。
- 大変勉強になりました。やはりグループワークで実際に考えたり意見交換する機会は重要と思いました。
- 文献検索の方法を学んだことがなかったので、とてもよい機会になりました。
- 実際に皆で議論することで、じぶんにはない気づき等もあり有益でした。
- 単純なシナリオにもかかわらず、RQを作り、測定を考えていく中で、RQ の修正の必要性が出てきたり、研究をデザインするためには、行ったり来たりする検討が必須であることが体験できました。

■ 【セッション 2：疑問を DAG でモデル化する】

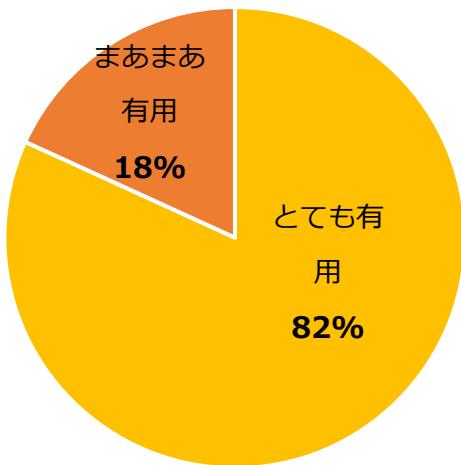
難易度はいかがでしたか？



実習時間はいかがでしたか？



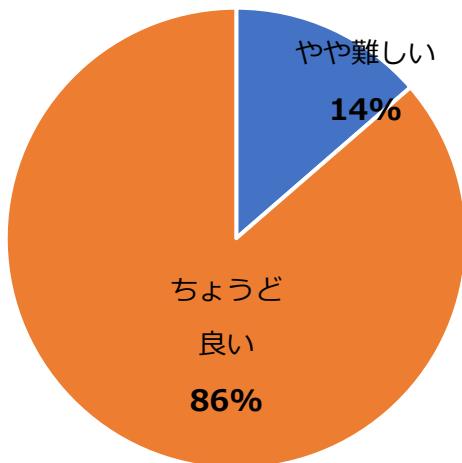
有用な内容でしたか？



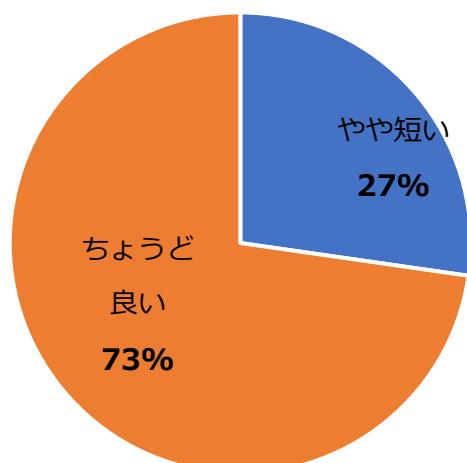
- 実際にやってみる事で困るポイントがある事や人によって意見が異なる事、それを統合して進めていく難しさを感じました。人によって意見が異なる点があるからこそ、その領域に精通している先生にもご意見を伺いながら進めていく必要性・重要性を感じる事が出来、業務にも生かす必要性を感じました。
- DAG の利用によって、思考が視覚的に整理されたため、メンバー内で何を議論しているのかが明確になったと思いました。学びの多い有意義な時間でした。
- DAG の使用方法や考え方等を学ぶとても有意義な時間でした。
- DAG はこれまで何度か説明を聞いていたのですが、一番わかりやすいようにおもいました。
- 実際にメンバーで DAG を書いてみると、矢印の方向や配置など戸惑う面もありましたが、実感をもって学習することができました。

■ 【セッション3：測定をデザインする】

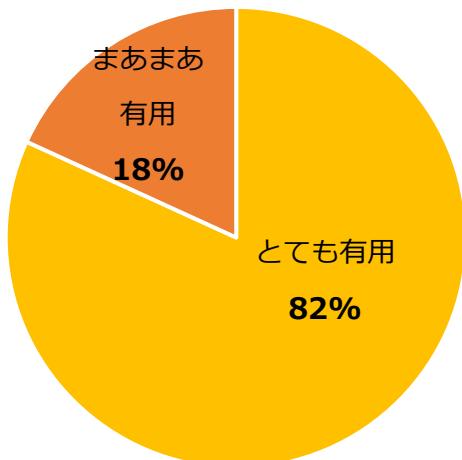
難易度はいかがでしたか？



実習時間はいかがでしたか？



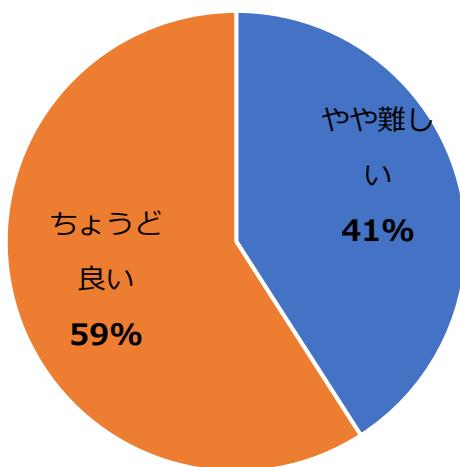
有用な内容でしたか？



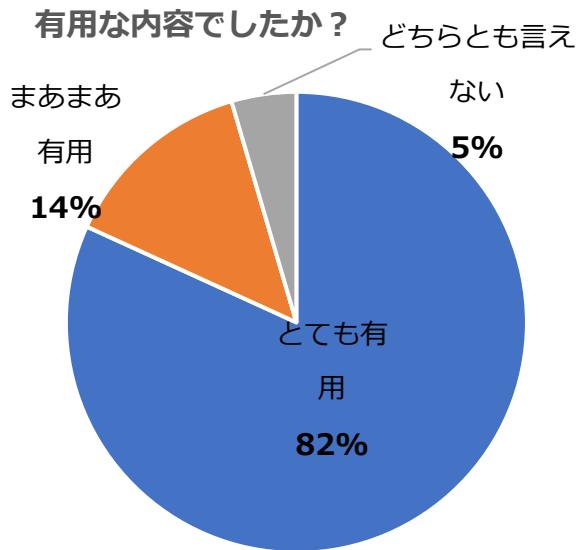
- 研究を実施する事で最終的に何を得たいか、という点を常に念頭に置いて試験設計の実現可能性を考えていかないと、最初のゴールを明らかにする上では不適切な試験設計になってしまうため注意が必要と思われた。
- なんとなくしていたことを、整理して考える機会になりました。とても良かったです。
- 自分のグループではアウトカムが抽象的な概念になっていたこともあり、どのようにデータとして検証するかについてメンバー間の認識や問題意識のすり合わせが難しく感じました。

■ 【特別講演 これからの QOL 評価】

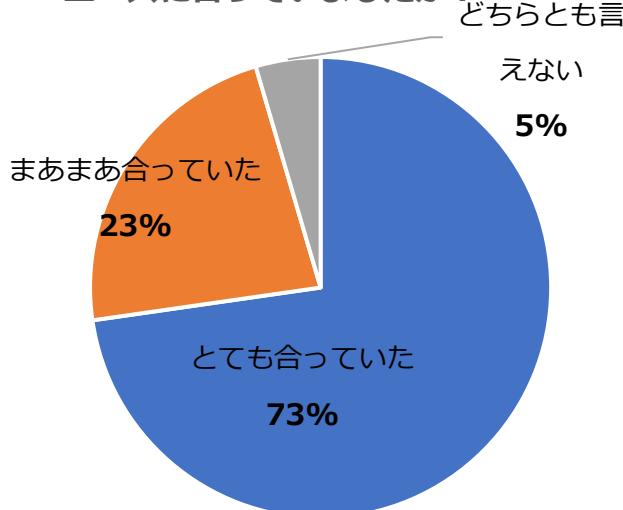
難易度はいかがでしたか？



有用な内容でしたか？



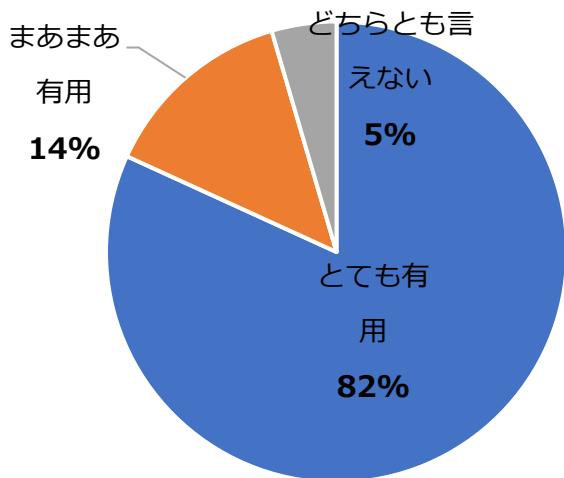
ニーズに合っていましたか？



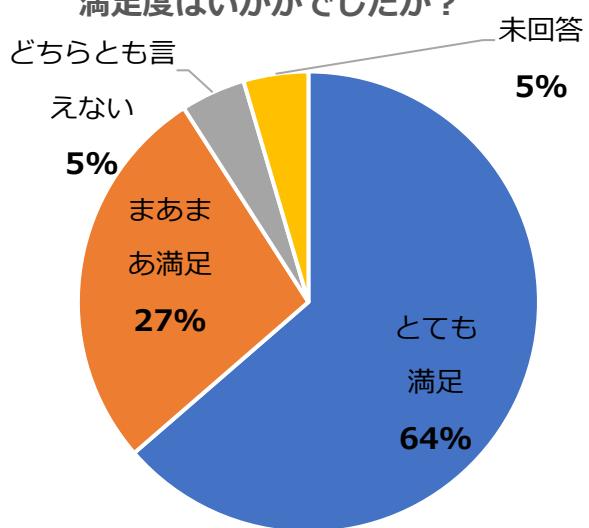
- 自身の業務でも QOL 評価を取り入れており、体系的に学ぶことができ良かった。
- 各 QOL 指標に関しどの場合にどの指標が適切か、各指標の利点・欠点がわかり非常に頭の中が整理されました。
- QOL 尺度は、大事なものだとわかっているけど、なんとなく自分で勉強するにはハードルが高い印象っていました。先生の講義を通して、理解が深まりました。
- QOL の測定について、大きな枠組みから説明いただいたので理解が深まった。一般的な QOL を使用する場面と疾患にあった QOL 測定の使い分けが明確になったので、学びが多いレクチャーでした。
- PRO 評価の基礎から、問題点、その上での最新のトピックについてもご教示いただき、大変勉強になりました。

■ワークショップ全体について

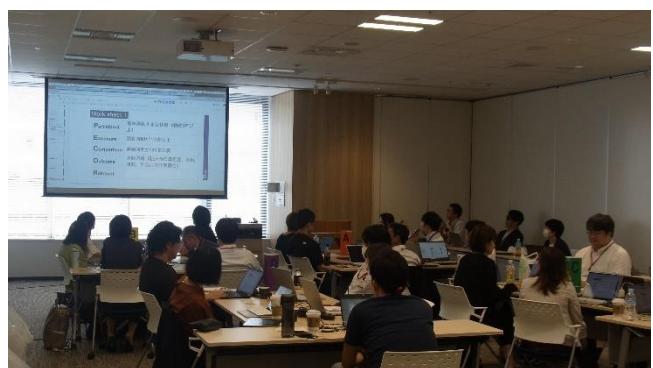
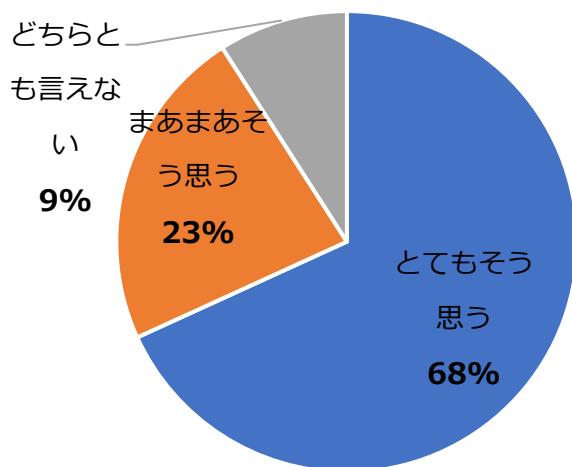
今後の研究活動に有用でしたか？



満足度はいかがでしたか？



周りにも勧めたい内容でしたか？



iCLiP 2024 年度 第 1 回 臨床研究ワークショップ記念撮影
東京日本橋ライフサイエンスビルハブ 2024 年 7 月 20 日

